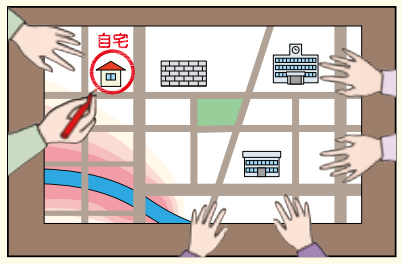
富津市防災ハザードマップの使い方

この防災ハザードマップには、普段から災害リスクを認識したうえで、自分が知っておくべき「危険箇所」「指定緊急避難場所・指定避難所」、「避難経路」、「家族との連絡方法」などの必要な情報を書き込んで、「自分だけのハザードマップ」を作成しましょう。

1 自宅の位置を確認する

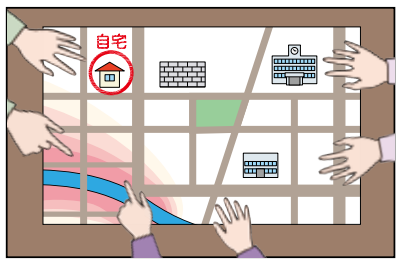
まず、自宅の位置に印をつけましょう。



チェック ☐

2 浸水や土砂災害などの危険区域を確認する

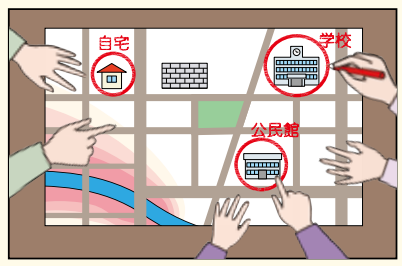
災害ごとのハザードマップを見て、自宅周辺が災害の危険区域になっていないか確認してください。



チェック ☐

3 避難する場所を災害ごとに確認する

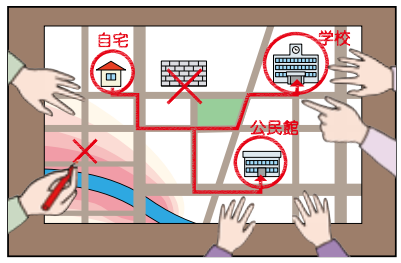
たとえば、津波のときに使用できる指定緊急避難場所、土砂災害のときには危険なため使用できない指定緊急避難場所などがあります。
53ページの「指定緊急避難場所・指定避難所等一覧」で、災害ごとの指定緊急避難場所等を確認し、どのような災害が起きたときにはどこに避難するか、決めておきましょう。



チェック ☐

4 安全な避難経路を考える

③で決めた指定緊急避難場所・指定避難所までの経路を考えましょう。
早めに避難するのが一番ですが、すでに荒天となってしまった場合は「浸水の危険のある場所」を避ける、地震による避難の場合は「ブロック塀等の危険な場所を避ける」など、安全な経路を見つけておきましょう。



チェック ☐

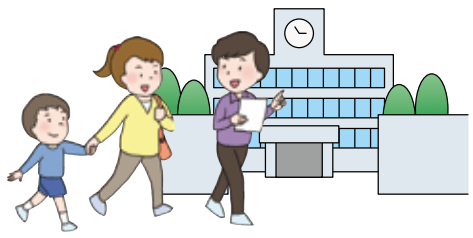
5 避難について家族や近所の人と話し合う

「周辺の危険箇所」「避難する場所」「避難経路」などについて、家族や近所の人と話し合っておきましょう。
いざというときには、慌てず、声を掛け合って、最善の避難行動がとれるように心構えをしておきましょう。

チェック ☐

6 自分たちの目で避難経路を確認する

指定緊急避難場所・指定避難所までの経路を、実際に家族や近所の人たちと歩いてみましょう。マップ上では気が付かなかった危険箇所や注意点など記録しておきましょう。



チェック ☐

7 避難時の持ち出し品などを準備しておく

56ページの「備蓄品および非常時持ち出し品」を参考に、避難するときの持ち出し品など、必要なものを準備しておきましょう。

チェック ☐

※各ハザード情報は、一定の条件に基づき予測されたものであり、実際の災害時は想定を超える可能性があります。